

「元気なかのや」創出に向けて

大都市圏との交流の架け橋に

総務省 若手企業人 地域交流 プログラム



若手企業人地域交流プログラムによって派遣された大槻さん、後藤さんにインタビューを行いました。

市では、総務省の平成24年度からの新たな事業である「若手企業人地域交流プログラム」を活用して、4月から民間企業の若手企業人2人を受け入れていきます。
これは、三大都市圏に本社のある企業に勤務する若手企業人が一定期間地方自治体に派遣され、地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に携わることにより、地方の元気づくりを推進するとともに、地方と大都市圏のネットワークづくりを進める目的で鹿屋市を含む全国6市が選定されました。
民間企業から鹿屋市に派遣されたのは、
○「あいおいニッセイ同和損害保険(株)」から大槻裕紀さん
○「株ぐるなび」から後藤虎南さんの2人です。
民間の視点や柔軟な発想など新たな風を鹿屋市に吹き込んでいただくとともに、本市の重点施策である農工商連携やブランド推進、観光振興等の産業振興の分野において、鹿屋市及び大隅地域と大都市圏との交流の架け橋としての役割を期待しています。

Q 鹿児島県にはどんなイメージを持っていましたか？

大槻 まず、幕末が頭に浮かびますね。薩摩藩や西郷隆盛など。そのほかに焼酎や黒豚などをイメージします。

後藤 明治維新の立役者というのが浮かびます。そのほか、鹿屋市では鹿屋体育大学は知っていました。

Q いままでどのような仕事をしてきましたか？

大槻 自動車事故の処理から保険金の支払いまでの「損害

部門」で5年間勤務していました。専門的な要素が高く、保険業界の魅力の一つである社会貢献性の高い仕事を身近に感じられる部門で勤務していました。

Q 鹿屋市にはどのような魅力があると思いますか？

大槻 自然豊かな街で日本最大級のかのやばら園はとても魅力的。また食も魅力的で、黒豚やカンパチ、ばらソフト

は最高だと思います。後藤 食材の発掘という仕事をしています。この鹿屋市は食材の宝庫だということです。鹿屋市がウナギの産地ということには知らなかったし、カンパチも魅力的です。また、桜島が身近にあるということは、他の地域にはない魅力だと思います。

Q 鹿屋市が「元気なかのや」づくりをさらに推進するためにどのようなことが必要だと思いますか？

大槻 正直、鹿屋市は全国的にはまだまだ、知名度が低い

と思います。全国トップクラスののばら園などの観光や食のPRを行い、西日本だけではなく、東日本でもさらなる知名度アップを図ったほうが良いと思います。

後藤 すばらしい食材が豊富にある鹿屋市ですので、様々なメディアを活用したPRが必要だと思います。ばら園や食に関して、企業とのタイアップやメディアが飛びつく企画立案が必要であると思います。

Q 鹿屋市でどんなことをしてみたいですか？

大槻 市民の皆さんでも気づいていない地域の良いところをどんどん発見して、鹿屋市



農林商工部
産業振興課
ごとう こなん
後藤 虎南 さん (25歳)
大分県大分市出身

派遣元 株式会社ぐるなび
インターネットで行きたいお店がすぐに見つかる日本最大級のグルメ情報メディアを運営。いつでもどこからでもお店の情報をキャッチできるように携帯端末をはじめ、様々なメディアに対応した最新の情報を提供。

派遣期間 1年間 (予定)

やかのやばら園の良さを全国に発信していきたいと思っています。また、歴史に興味があるので、鹿屋の基地史料館や吾平山上陵などに行つて歴史めぐりを行いたいと思っています。市民の皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

後藤 民間で培った経験を生かし、鹿屋の魅力的な食材を発掘して流通ネットワークの形成や販路拡大に貢献していきたいです。また、趣味が釣りなので、釣りもしてみたいと思っています。市民の皆さん、どうぞよろしくお願ひします。



農林商工部
商工観光課
おおつき ひろき
大槻 裕紀 さん (28歳)
千葉県市川市出身

派遣元 あいおいニッセイ
同和損害保険株式会社

2010年あいおい損保とニッセイ同和損保が合併し誕生した企業で三井住友海上損保とグループ企業 (MS & AD)。収入保険料が業界トップ。

派遣期間 2年間 (予定)